

3月20日 「春分の日 進級・進学に向けて」

明日、3月21日は春分の日といって、国民の祝日です。

春分の日は、二十四節季の一つで、自然をたたえ、生物をいつくしむ日とされています。農業を本格的に始めることが多いとされています。

また、昼と夜の長さがだいたい同じとなり、春分の日を過ぎると昼の長さが夜よりも長くなります。だんだんと昼の長さが長くなっていくのですね。

春分の日的前後3日間、全部で7日間をお彼岸といいます。この時は、ご先祖が住んでいる世界である彼岸（ひがん）と私たちが生きている世界である此岸（しがん）がつながる期間とされていて、先祖の皆さんに感謝する習わしがあります。その感謝の気持ちを表すのがお墓参りです。ちょうど、お彼岸のときに、お墓参りをするお家が多いのは、そういう意味があるのですね。お墓参りにいけない場合は、仏壇や空に向かって感謝の気持ちを表しても良いそうです。先祖からずっと受け継がれて、今の私たちがあることを忘れないようにしましょう。

そして、春分の日が明けると、今週は修了式と卒業式があります。令和4年度の締めくくりです。どうでしょうか。進級・進学への気持はしっかりともっているでしょうか。

今週は、改めて、自分自身を振り返り、次の学年、6年生は中学校に向けて、気持ちを引き締めた生活をしていきましょう。ちょうどお彼岸でもあるので、ご先祖様に成長した姿を見せることも感謝の表れです。